

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

ニューキャンパスシリーズ 42 (通算 441 回)
 キャンパス風土・環境のチェンジ

2009 年 10 月 21 日 (水)

アカデミック・ハラスメント対策の要点と具体策

～ 公正な相談・対応・防止体制整備の進化／潜在的特性／浄化機能強化 ～

- ※ 大学を破壊するアカハラ／風土改革／規則を作ってはみたけれど…／教員間ハラスメントの構造
- ※ [明治大] 「ありふれた」相談に潜む難問／心の不安定さへの相談対応／既存規程に阻まれる
- ※ [立教大] 人権・ハラスメント対策センターの活動／効果的な啓発／学生を巻き込む
- ※ [芝浦工大] 教員倫理綱領の制定／ハラスメント防止体制の整備と今後の展開

● 講師陣 ●

- 原田千恵子 氏 / 明治大学 学生相談事務部長
 池田 伸子 氏 / 立教大学 人権・ハラスメント対策センター長、異文化コミュニケーション学部 教授
 村中 知子 氏 / 茨城大学人文学部 教授、元・ハラスメント対策委員長
 石井 博文 氏 / 芝浦工業大学 事務局長
 盛 香織 氏 / 芝浦工業大学 ハラスメント防止委員長、システム理工学部 准教授

2009 年 10 月 21 日 (水) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時：2009 年 10 月 21 日 (水) 9:40～16:50
 会 場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口
 から徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込)
 40,000 円(消費税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付)
 41,000 円(送料、消費税込)
 ※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方
 の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

ニューキャンパスシリーズ 42 2009 年 月 日

アカデミック・ハラスメント対策の要点と具体策

当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 11:00 11:00 11:00 12:50	<p>□ [明治大] キャンパス・ハラスメント対策組織機能の限界—超えられない現実と実情 ～いくつかの「ありふれた」相談事例に潜む難問～ 明治大学 原田千恵子</p> <p>1. 大学の持つべき自浄作用がどこまで果たせるか？ (1) 相談者の弁護士同伴について (2) 被害者の経済的保障について</p> <p>2. 心の不安定さを反映する相談への対応 (1) 現実に起こっているハラスメントであるか、どうか。 (2) 予期不安がもたらすもの (3) 医療への勧告が許されるか？</p> <p>3. 既存規程に阻まれる諸問題 (1) ハラスメント独自の判断基準の必要性？ (2) 学生のもつ時間的制約 (3) その他 (質疑応答)</p>
11:10 12:50	<p>□ [立教大] ハラスメントのないキャンパスを目指して ～様々な啓発活動の試みと人権・ハラスメント対策センターの活動～ 立教大学 池田 伸子</p> <p>1. 人権・ハラスメント対策センターの活動 (1) 発足までの経緯 (2) 理念 (3) 主な役割と活動</p> <p>2. キャンパス・ハラスメントを防止するための取り組み (1) 教職員を対象とした活動 (2) 学生を対象とした活動 (3) 学生を巻き込んだ活動—学生サポーター</p> <p>3. 今後の課題 (1) 相談体制の強化 (2) 学生の変化への対応 (3) 効果的な啓発活動をどう進めるか (4) 他部局との連携の必要性 (質疑応答)</p>
13:50 15:20	<p>□ ハラスメントとキャンパス風土改革 ～大学を破壊するアカデミック・ハラスメント～ 茨城大学 村中 知子</p> <p>1. ハラスメントの集積地としての大学 (1) さまざまな種類のハラスメント (2) なぜ頻繁にハラスメントが起こるのか (3) ハラスメントをハラスメントとして認識しない環境</p> <p>2. 教員間で起こるハラスメントの構造 (1) 隠れ蓑としての言論の自由 (2) すべてのハラスメントは人権侵害という理解の欠如 (3) ハラスメントを支える同調行動</p> <p>3. ハラスメント防止・救済・対策についての規則はつくってみたけれど…… (1) 規則の運用を通じて見えてくるもの (2) 公平性・公正性・中立をいかにして担保するか～事実認定のための「調査」 (3) ハラスメントの正しい理解の普及～研修の必要性和二次的ハラスメントの回避</p> <p>4. ハラスメントの野放しによっていかに大学が壊れてゆくか (1) 透明度の高いハラスメント防止体制の確立は大学における司法機能の強化 (2) 公正性・公平性の欠如はモラル・ハザードへの道～訴訟の増加 (3) 今後の課題 (質疑応答)</p>
15:30 16:50	<p>□ [芝浦工大] コンプライアンスとハラスメント防止体制 ～教授会自らつくり上げた教員倫理綱領～ 芝浦工業大学 石井 博文/盛 香織</p> <p>1. 教員倫理綱領制定までの歩み</p> <p>2. 大学の社会的責任とコンプライアンス</p> <p>3. ハラスメント防止体制の整備と具体的取り組み</p> <p>4. 今後の課題 (質疑応答)</p>